

令和6年度事業計画

新型コロナウイルスが下火になり観光業・食品業等に好影響が出ていますが、経済界には、まだまだ厳しい状況が続いております。当センターに於いても同様の状況です。そんな中令和5年度は、富士山須走口5合目入山料徴収業務を4年ぶりに再開し収入増に繋がりましたが、まだまだ油断は禁物です。今後共関係省庁との連携の元、業績回復に邁進致したく、皆様方のご協力をお願い致します。

小山町シルバー人材センターに於いても、社会の担い手として、長年培ってきた知識・経験・技術等を生かし就業し、後進に伝授する事も、地域社会に於ける大事な貢献・活性化だと思えます。

しかしながら、現状は、会員皆様の平均年齢の上昇・会員数の減少それに伴う、収入減が顕著です。令和6年度は、厳しい予算を組まざるをえない状況と成っております。

公益財団法人に移行して、13年目を迎え、より一層公共性を高め、地域社会に貢献して、町民・企業・関係諸団体から更なる信頼が得られる団体として、設立の趣旨である「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき、事業の積極的な展開及び会員数拡大を図ってまいります。

1 基本方針

- (1) 安全就業の徹底
- (2) 派遣事業の推進
- (3) 会員確保の推進
- (4) 就業開拓の推進
- (5) 普及・宣伝活動の推進
- (6) 研修・講習事業

2 事業実施計画

(1) 安全就業の徹底

- ① 「安全は、全てに優先する」をスローガンに、就業中及び就業途中の事故防止

に取り組めます。

- ② 安全委員会による安全パトロールの推進を図ります。
- ③ 新入会員説明会や安全講習会の場を利用して安全就業についてのPRを図ります。

(2) 派遣事業の推進

法令遵守による適正就業がもとめられていることを踏まえ、派遣事業に積極的に移行し、且つ新規開拓に努め、一人でも多くの会員が、就業出来る様に推進していく。

(3) 会員確保の推進

期待されていた団塊の世代の入会者が少なく、在籍会員も年々減少傾向にあり、会員の平均年齢も少しずつ高くなっています。

植木・草刈り・草取り等の職群が特に高齢化しており、このままでは受注しても達成出来なくなる可能性があります。また、継続就業の会員についても、交代要員がいなくて契約を遂行出来なくなる状況も考えられます。

会員の確保については、町の広報誌への掲載、各種催しでのPR活動のほか、役職員・会員が一人一勧誘の気持ちで、友人知人への働きかけを行いたい。

(4) 就業開拓の推進

就業開拓と会員の確保はシルバー事業を進めるうえでの最重要課題であり、小山町からの協力を頂きながら、会員、役職員が一丸となり新規契約先の開拓をしてまいります。従来のお客様については、今まで以上に訪問を重ね情報収集を行い就業開拓に努めます。

(5) 普及宣伝活動の推進

公益社団法人として地域社会で理解され、又ご利用頂く上でも、社会奉仕活動に積極的に参加してまいります。6年度も世界文化遺産となった富士山一斉清掃への参加、各支部毎の清掃・草刈り・植木の剪定等の奉仕活動を実施すると共に、シルバーデイへの一般町民の今迄以上の参加を広報誌の活用や、会員からの呼びかけを行い、普及宣伝活動に努めます。

(6) 研修・講習事業

昨今の当センターが抱える諸問題・今後の課題等を解決していくために、先進地を視察研修し、会員・役職員の見識を広め、センターの発展に寄与したい。又派遣会員のキャリアアップ研修の他に、一般会員を対象にした、「マナー接遇・各種技能講習等」の講習会研修会等を開催し、会員の技能向上スキルアップを図り、各々の意識向上に繋げたい。

例年1月中に実施している、安全講習会安全祈願祭は、本年度も実施予定です。